

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 18日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスりあん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	4	・長期休みは小学生と児童の利用になる為1Fと2Fの使い方を工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	8	2		・適切な場合もあるが、障がいによっては1対1が安全の為必要な場合も生じる・人数的には適切だが、1対1でつく必要があたあり、他児と同じ活動が難しい点から職員はもっと多い方がいいと思う
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	6		・玄関に大きな段差が存在し、子どもたちがよくそこで転んでしまったり、落ちてしまったりする・遊び場と手洗い場の段差・体に合った机と椅子・トイレの手洗いが届かない・昼寝の場所・広くわかりやすい空間ではあるが、落ち着けるスペースがある個で活動できるスペースがある等も少し空間を分けたり段差も減らした方がいいと思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	5		・着替え(排泄)の場の保証・トイレ使用後の手洗いのタオルが無い子どもたちが服で拭いたりしているのが気になります。ペーパータオルの準備はどうか・食事のテーブル拭きが不潔に感じました
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3		・正規職員は朝礼や職員会議等でできていると思うがパートさん方は出来ていないように思う
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	4		・時間的に難しさを感じるが、研修会に参加して知識を増やしていきたい

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	2	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	3	・長期休みは正規職員で活動内容を考えるが、普段の活動は個人で考えることが多いので一人一人に合った活動を全員で考えるか、難しいければ日単位くらいで活動プログラムを作り全員で共有できると思う
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	4	・放課後等デイサービスと比べると活動プログラムが固定化しているように思う
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	7		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2	・バイトの方は13時以降の出勤になるが全員が揃ってからの朝礼を心掛けている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4	・打合せは特に行っていないが、その日気づいたことや気になったことはすぐに報告するようにしている・帰る時間が違い難しいが活動日誌での共有はしている・話をするが日誌で申し送り等大切なことは書いて他の職員と共有することを心掛けている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	2		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	2	・急な対応が出来るように、マニュアルを電話のところに置いてあり、職員が共有出来ている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		・就学前の子も情報を共有して双方で共通の支援をしていけるといいと思う
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4		・なかなか全員で集まることが出来ていないので保護者会等をやってほしいと思う
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9			・実際に保護者の方から、子どもたちがよく転んで帰ってくると苦情が入ったとき、職員全員で意見交換を行い対応策を考えた
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	1	・個人のファイル～日誌まで十分に気をつけてファイリングしてある	・名前、電話番号の明記大丈夫か？
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1		・訓練はまだ数回しかしたことがないので日に一回は行い、いざという時に慌てないように出来ると思う。特に小さい児に対しては担当を決めるのも良いと思う
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	3		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	1		